



方面	富樫総監 着任	(1面)
1師団	第1音楽隊演奏検閲	(3面)
12旅団	前島旅団長 着任	(4面)
1施設団	安田施設団長 着任	(5面)
関東補処	霞ヶ浦駐屯地航空救難訓練	(5面)

# 富樫総監が着任

**統率方針**  
**「強靱な東部方面隊の創造」**  
**要望事項**  
**「万事作戦を基準」**



着任式に臨む富樫総監



儀じよう隊の荣誉礼を受ける富樫総監

第43代東部方面総監に富樫 勇一（とがし ゆういち）陸将が3月30日付で第2師団長から着任した。3月31日、桜吹雪の中初登壇した富樫総監は、慰霊碑参拝の後、総監部庁舎に降り立ち、儀じよう隊の栄誉礼及び儀じようを受けた。

引き続き、総監部庁舎内にて師団長をはじめとする幹部挨拶を受け、その後音楽広場において着任式に臨んだ。式典は、温かい春の日差しに包まれた空気の中で行われた。

着任の辞では「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針とし「万事作戦を

基準」を要望するとともに「日本の政経中枢を預かる方面隊として、方面区内の防衛警備、各種災害対処、国際任務、国家行事等全てにおいて、いかなる任務にも即応し必ず達成しなければならぬ。作戦基本部隊、直轄部隊、各機関等において

はそれぞれの隊務を「作戦」で捉えてその任務を遂行してもらいたい」と力強く述べた。

その言葉を受けた全隊員は富樫総監の統率の下、使命感と責任感を持って職務に取り組む決意を新たに誓った。

第四十三代 東部方面総監

陸将

富樫 勇一

生年月日 昭和41年8月生  
出身地 山形県  
学歴 防衛大学校（第33期）

主要経歴  
第14普通科連隊長 兼 金沢駐屯地司令（金沢）  
陸上幕僚監部人事計画課長（市ヶ谷）  
富士学校普通科部長（富士）  
北部方面総監部幕僚副長（札幌）  
統合幕僚監部報道官（市ヶ谷）  
陸上幕僚監部人事教育部長（市ヶ谷）  
第2師団長（旭川）

## 総監着任の辞

一都十県の防衛警備等を任務とする東部方面隊を指揮統率する機会を得たことを大変光栄に思うとともに、改めて身の引き締まる思いである。

ただ今より、東部方面隊の指揮を富樫陸将が執る。

諸官承知の通り、国内外情勢は、ロシアのウクライナ侵攻等によるパワー

バランスの変化が加速化・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性が増している中、わが国周辺の地域においてもかつて直面したことのない緊迫した状態にあり、わが国は戦後最も厳しくかつ複雑な安全保障環境に直面している。

また、国内に目を向ければ、近年異常気象による甚大な自然災害が常態化

するとともに、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模震災の発生も懸念される状況であり、国民の自衛隊に対する期待も極めて高い。

このような情勢認識の下、東部方面隊は、わが国の政治・経済の中枢を含む地域を担い、国土防衛に加え、国際活動や災害派遣等如何なる任務が与えられようともその任務を完遂しなければならぬ。

このため東部方面隊を指揮統率するに当たり「強靱な東部方面隊の創造

を統率方針とし、要望事項として「万事作戦を基準」を挙げる。

日本の政経中枢を預かる方面隊として、方面区内の防衛警備、各種災害対処、国際任務、国家行事等全てにおいて、いかなる任務にも即応し必ず達成しなければならぬ。

作戦基本部隊、直轄部隊、各機関等においてはそのそれぞれの隊務を「作戦」と捉えてその任務を遂行してもらいたい。

それにより「強靱な東部方面隊の創

造」を成し得るものと信じている。

私も、方面総監として、その責任を果たす所存である。

以上、着任にあたり所信を述べたが、東部方面隊の強靱化が陸上自衛隊の強靱化、ひいては、日本の国土防衛に直結することを信じ、私自身任務完遂に全力を尽くすことを表明し、着任の辞とする。

令和五年三月三十一日  
東部方面総監  
陸将 富樫 勇一



離任式に臨む森下前総監

## 森下前総監 陸幕長へ

森下前総監の陸上幕僚長への栄転に伴う離任行事が3月29日、朝霞駐屯地で執り行われた。

森下前総監は令和4年12月22日、第42代東部方面総監として着任以来「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針として掲げ「克己」を要望した。

この間、安部元首相国葬、令和4年1月から5年3月までの間担任した東京大規模接種会場運営といった国家的行事支援、創立記念行事等、多種多様にわたる活動の指揮を執り、多大な功績を残した。

離任行事において「手掛ければならない」と赴任した。

市ヶ谷駐屯地に向け勇躍



多くの隊員に見送られる森下前総監



# 方面隊唯一無二の火力戦闘部隊 新編 東部方面特科連隊



總監から隊旗を授与される特科連隊長

方面隊は3月16日、北富士駐屯地において第1特科隊及び第12特科隊の廃止に伴い、東部方面特科連隊の新編行事を実施した。

1特及び12特は3月14日、北富士駐屯地及び宇都宮駐屯地において、部隊廃止に伴う隊旗返還式を実施した。

1特は平成14年3月27日に第1師団の政経中核師団への改編に伴い再編され、12特は平成13年3月27日に第12師団の旅団改編に伴い新編された。創隊から20年余りを迎え

た本年度「30大綱」「31中期防」に基づき、各種事態に即応・機動し得る迅速・柔軟な部隊運用のため、柔軟な編成・装備が見直され、東部方面特科連隊に新編に合わせたその歴史に幕を閉じた。

初代特科連隊長には富永一佐が任命され、編成完了式を実施した。總監は訓示において「方面隊唯一の火力戦闘部隊としての戦い方を確立せよ」「戦力化の更なる促進」の2点を要望するとともに、「諸君は、方面隊唯一無二の火力戦闘部隊であ

る。首都防衛を担う新たな東部方面隊の直轄部隊として、また第1特科隊・第12特科隊から引き継ぎ、栃木県及び山梨県の防衛警備、災害対処、民生支援を担う隊区担任部隊として、重責を自覚し、使命感と誇りを持って任務に邁進してもらいたい。

初代連隊長 富永一佐を核心として「強靱な東部方面隊の創造」のために一丸となって益々職務に精励することを期待する」と述べた。

関連④面



編成完了した東部方面特科連隊



訓示を述べる總監

## オピニオンリーダー 感謝状贈呈式 継続委嘱状交付

# 継続的な活動に感謝



總監から感謝状を贈呈されるオピニオンリーダー



継続委嘱状交付後の記念撮影



感謝状贈呈及び継続委嘱状交付後の記念撮影

方面隊は3月24日、朝霞駐屯地においてオピニオンリーダー感謝状贈呈式及び継続委嘱状交付式を実施し、在任間の活動に感謝の意を表するとともに、オピニオンリーダーとしてのさらなる意識

の高揚を図った。オピニオンリーダーの制度は、さまざまな分野の部外有識者の方々に、方面隊の活動について認識を深めていただき、方面隊施策への助言及び情報発信による幅広い協力

者の獲得を目的としている。1任期2年、最大2任期4年にわたり活動し、2任期満了の方には感謝状を、1任期満了で継続を承諾いただいている方には継続委嘱状を贈呈した。

總監は感謝状や継続委嘱状及び記念品を手渡すとともに、特にコロナ禍における継続的な活動に対し感謝の意を述べた。

また式典後の会食においては、オピニオンリーダーから所見を述べていただく等、貴重な意見交換が行われた。

# 東京大規模接種会場任務終了式 420日に及ぶ任務を完遂

方面隊は3月26日、東京大規模接種会場(千代田区大手町)において浜田防衛大臣、木村防衛大臣政務官、統合幕僚長隣席の下、自衛隊東京大規模接種東場任務終了式を

実施した。大規模接種会場は令和4年1月31日に運営が開始され、5年3月25日までの間に420日運営し、約34万人にワクチンを接種した。

任務終了式で總監は運営が開始された昨年は、一刻も早くワクチン追加接種が望まれる状態だった。特に昨年5月は3回目から4回目の追加接種、10月はオミクロン株対応

ワクチンの接種など状況が逐次変化する中で、力を合わせ果敢に課題に取り組み姿勢は頼もしく、心から敬意を表したい。運営開始に先立ち「国民に安心と安全を届ける作戦

であり極めて重要な任務」と述べたが、一人一人がその重責を理解し、役割を十分に果たして任務を完遂することができた」と感謝の言葉を述べた。

# 広報センターに新フライトシュミレーター導入 4人同時に体験可能



操縦席(後)から見た射手席(前)



業者による操作要領の確認



HMD装着で4人同時に楽しめる



前後に2人乗車可能

広報センターは4月から、新型のフライトシュミレーターを導入し、来館者の陸上自衛隊への興味・関心の喚起及び理解の促進を図った。

このフライトシュミレーターはAH-1S実機品の座席を使用し、AH-64DのタンDEMコクピット部分を模倣したもので、外部4画面ディスプレイでの操作、HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を装着しての操作も可能となっている。最大体験人数は4人のため家族・友人等で楽しむことができる。また操縦席及び射撃席において操縦・射撃が可能となり、終了後には成績が表示されるため、競争心及びリビート意欲の向上が期待される。さらに座席は、実物を活用することにより、リアリティも向上している。

今後、新フライトシュミレーターの導入をきっかけに、来館者数の拡大が期待される。



# 第1師団 演奏検閲「第38回ふれあいコンサート」

## 太鼓・らっぱ隊と共に感動のステージ

第1音楽隊は2月25日、板橋区立文化会館大ホールにおいて、令和4年度第1音楽隊演奏検閲（第38回ふれあいコンサート）を受閲した。

本演奏検閲は第1音楽隊に対し、ふれあいコンサートの場を活用して演奏技能等の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的として行われた。

演奏検閲に当たり、統裁官である師団長は「自らが楽しむこと」と感謝と協調の2点を要望した。

演奏検閲は「Music in the Heart」をテーマに第1部（第1景から第4景）、第2部（第5景から第6景）の2部構成で行われた。

第1部の第1景は、オーブニング曲として「ラッシング・ウィンス」、第2部の第5景は、吹奏楽の魅力テーマに「ディズニランド・セレーション」の「あの日聴いた歌」を吹奏し、「青春の輝き」において米玉利3曹のサクソフォーンソロ、「みんな空の下」では綾3曹が歌を披露した。

第3景は勇猛なる信号喇叭（らっぱ）をテーマに第1普通科連隊らっぱ隊による「陸上自衛隊らっぱ譜集」のこの国はらっぱ譜付を司会のユーモアある解説とともに吹奏した。

第4景は日本太鼓の響きをテーマに第1施設大隊の隊員が所属する朝霞振武太鼓による「山影、龍神流れ太鼓」を披露した。

第6景のフィナーレでは「翼をください」を綾3曹の歌とともに、全ての演者が出演し、締めくくった。

今回、佐久1曹は企画係長として企画・立案及びステージマネージメントを行い、優秀隊員に選ばれた。佐久1曹は今回のふれあいコンサートの第1師団の音楽まつりをイメージして、客入れBGMにオルゴール、舞台照明、音響効果と呼ばれる舞台特殊効果のエアキヤノン砲（銀打ち）、演奏者による見送り等、来場者が会場に足を踏み入れてお帰りになるまで「飽きさせず、心に響く音楽」をコンセプトに



ふれあいコンサートの様子



「みんな空の下」を歌う綾3曹



第1施設大隊 朝霞振武太鼓



第1普通科連隊 らっぱ隊

### 第1特科隊部隊廃止に伴う隊旗返還式

#### 「いとく」の愛称で親しまれた戦場の女神は方面へ



第1特科隊は3月14日、北富士駐屯地において部隊廃止に伴う隊旗返還式（写真）を実施した。1特は昭和35年11月、第1特科連隊第4大隊が宇都宮駐屯地から北富士駐屯地に移駐し、平成14年3月、第1特科連隊が廃止され第1特科隊が新編されてから今日まで「いとく」の愛称で親しまれ、首都防衛の任務に従事するとともに山梨県内の防衛警備、災害派遣任務を保持、陸上自衛隊唯一の礼砲部隊として国家的行事などの礼砲任務に活躍してきた。今後は東部方面特科連隊となる。

### 民生品を活用した陣地構築の検証 施設合同訓練を実施

第1施設大隊は2月19日、北富士演習場において日から2月24日までの7日間、師団隷下部隊の陣地構築能力の維持・向上を図るとともに民生品を活用した陣地構築の検証及び部隊普及を目的として、令和4年度第2回施設合同訓練を実施した。



ソイルアーマー（左下）を活用した陣地構築

本訓練は21日、1施設大隊の隊員が作成した簡易蓋掩壕及び民生品のソイルアーマーを活用した警戒・監視用掩体の完成形の展示・説明を行った後、2コグループに分けて簡易蓋掩壕及びソイルアーマーを活用した警戒・監視用掩体をローテーションで構築し、その後、22日は5コグループに分け、民間の小売店等で取得可能な資材を活用した陣地構築し、その成果を共有した。また、各グループが作成した構築物の耐弾性を検証した。

### 師団優秀隊員10名を表彰 隊員家族と共に受賞祝う

令和4年度師団優秀隊員招待行事



表彰を受ける1特 山本1曹

第1師団は2月23日、令和4年度師団優秀隊員招待行事を実施した。

本行事は職務遂行、教育訓練等で特に活躍し、師団の隊務運営に著しく

貢献した隊員の功績を称えるとともに、隊員を支えてきた家族に対して感謝の意を表すことを目的とし、優秀隊員及びその家族を招待して師団長から褒賞状授与、記念撮影、記念会食等を行った。

- ◆優秀隊員紹介
- 【第4級賞詞】
- 1曹 佐久 光一郎
  - 3曹 綾 愛佳
- 【褒章】
- 2曹 佐田 みさき
  - 3曹 米玉利 勇気

師団優秀隊員は次のとおり。

【第32普通科連隊】

- 曹長 島田 博光
- 2曹 川上 晃典

【第34普通科連隊】

- 曹長 郡山 弘
- 2曹 廣瀬 亮

【第1特科隊】

- 1曹 山本 亮輔

【第1偵察戦術大隊】

- 准尉 橋爪 一仁

【第1施設大隊】

- 曹長 酒井 和之
- 曹長 渡邊 篤

【第1通信大隊】

- 1曹 和栗 政義

【第1師団司令部付隊】

- 曹長 佐野 晃典

### 36人の格闘指導官が誕生 師団格闘集合訓練を実施



各種状況を想定した応用技術訓練

第34普通科連隊は1月10日から2月24日までの間、令和4年度師団格闘集合訓練を実施した。

本訓練は格闘訓練を指導する部隊格闘指導官を養成することを目的に、第1師団隷下部隊の隊員が参加して格闘技術練度の向上に励み、新たに36人の格闘指導官が誕生した。

総合訓練では、東富士演習場市街地訓練場を使用し、重要防護施設の防護の状況下において実戦で生起する可能性のある各種事象への対処を演練し、培った知識・技術を用いて、格闘指導官として認められた36人に対して教官から「格闘章」が授与された。今後、36人の各部隊における部隊格闘指導官としての活躍を期待している。

### 師団写真・動画展示会 6名が受賞

初代動画の部で最優秀賞に会田2曹



師団は3月6日、練馬駐屯地で令和4年度師団写真・動画展示会表彰式を実施した。本展示会は今年度より動画の部を新設して行われた。審査は部外有識者2人、師団懇話会会長、防衛モニター2人、師団長、副師団長、幕僚長及び師団CSMの計9人による採点で行われた。写真の部は、第1後方支援連隊の訓練終了時の隊員の気持ちを撮影した写真が最優秀賞に選ばれた。動画の部は、第34普通科連隊の静岡の郷土部隊をテーマに作成した動画が最優秀賞に選ばれた。受賞隊員は次のとおり。

- ◆写真の部
- 【最優秀賞】
- 第1後方支援連隊 1曹 関根 洋子
- 【優秀賞】
- 第32普通科連隊 3曹 竹井 彩
  - 第1普通科連隊 3曹 伊藤 拓哉
- 【佳作】
- 第1師団司令部付隊 3曹 宮田 祐紀
- 【特別賞】
- 第1高射特科大隊 曹長 山口 茂樹
- ◆動画の部
- 【最優秀賞】
- 第34普通科連隊 2曹 会田 健策



第12旅団

# 旅団長に前島将補着任

## 統率方針「使命の完遂」



第12旅団長に前島将補が着任する様子

第13代第12旅団長に前島政樹(まえじままさき)陸将補が、3月30日付で第3師団副師団長兼ねて千僧駐屯地司令から着任した。

相馬原駐屯地に初登庁した旅団長は、副旅団長ほか各部隊長の迎えを受け、慰霊碑で献花を行った。その後、第12偵察戦闘大隊重吉3尉が指揮する儀仗隊の栄誉礼を受け着任式に臨んだ。

着任式の訓示において旅団長は「第12旅団は陸上自衛隊唯一の空中機動性を高めた作戦基本部隊として、また先般の改編により広域な作戦地域における情報収集力と機動力を強化された旅団として、あらゆる事態に即応し、その任務を完



第12旅団長が献花を行う様子

遂し得る実力を保持することが求められている。このため本職、旅団に課せられた『使命の完遂』を統率方針としてその職責を全力で果たす」と決意を述べた。その後「隊員一人ひとりが高い意識を持ってプロとしての技量を磨くとともに、装備を常に良好な状態に保ちつつその運用練度を向上し、旅団全体として即応態勢を保持して各種戦闘力を有機的に組織化した

### 旅団戦闘射撃競技会

旅団は3月4日から8日までの間、東富士演習場において令和4年度旅団戦闘射撃競技会を実施した。本競技会は戦闘射撃等に係る練度向上を促すとともに、部隊の団結・士気の強化と高揚を図ることを目的に行われ、旅団隷下各普通科連隊と第12偵察隊の4コ部隊から選ばれた、11コ分隊で競った。



優勝した第30普通科連隊の戦闘射撃は、一丸となり、平素の練成成果を遺憾なく発揮し、第30普通科連隊が見事優勝した。参加した各部隊は、今競技会で得た教訓を分析し、さらなる戦闘射撃の能力向上を図っていく。



旅団長から隊旗を授与される第12偵察戦闘大隊長

## 第12偵察戦闘大隊新編

### 12特隊・12対戦中が22年の歴史に幕

旅団は3月16日、相馬原駐屯地において第12偵察隊廃止に伴い、新たに編成された第12偵察戦闘大隊の新編行事を執り行った。

第12偵察隊は昭和37年総隊以来62年間、12師団・旅団における唯一の偵察隊として任務遂行能力の向上に貢献してきたが、新たに16式機動戦

闘車を装備する第12戦闘偵察大隊に生まれ変わった。部隊新編に当たり、旅団長は「本部隊の新編は、日本を取り巻く安全保障環境が一層厳しくなる中、各種事態に即応し、実行力かつ機動的に抑止及び対処するため、旅団の偵察戦闘機能を発揮するために行われるも

のである。新編後は主要装備品である16式機動戦闘車の早期戦力化を実現し、第12偵察隊の歴史と伝統を継承した、任務にまい進する強靱な第12偵察戦闘大隊を目指してもらいたい」と訓示した。また旅団隷下の2コ部隊の廃止行事が行われ、旅団長へ隊旗が返還された。3月10日、新町駐屯地において、第12対戦中隊の廃止行事が行われた。



隊員に見送られる坂本前旅団長

坂本前旅団長の交代に伴う離任行事が3月29日、相馬原駐屯地で執り行われた。

## 坂本旅団長 離任

### 第8師団長・北熊本へ

坂本前旅団長は令和3年3月26日着任し、約2年間にわたる旅団を統率してきた。

坂本前旅団長離任行事において「道半ばではあ

り、共に歩んできてくれたことに心より感謝すると隷下部隊に述べた。



旅団長へ隊旗を返還する第12特科隊長



旅団長へ隊旗を返還する第12対戦車中隊長



聴衆を魅了する音楽隊

旅団は3月4日、高崎芸術劇場(群馬県高崎市)において、第57回定期演奏会を実施した。今回の演奏会は、「新たな挑戦〜感謝を込めて」をテーマに2部構成で行われた。第1部は吹奏楽の魅力を引き出す、隊員の独奏曲及び吹奏楽の大曲を披露。第2部は軽音楽など親しみやすい楽曲を中心に観衆と一体となる演奏を披露し、訪れた約1700人の聴衆を魅了した。旅団はこの演奏会を通じ、自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図ることができた。

## 第57回旅団定期演奏会

### 3年ぶりに開催、聴衆を魅了



第1施設団

# 安田施設団長 着任

## 「方面施設としての使命を全うする」

施設団は3月30日、第35代第1施設団長兼ねて第39代古河駐屯地司令安田百年陸将補の着任行事を実施した。

同行事は新団長の駐屯地初登庁から儀しよう、



着任の訓示を述べる安田施設団長



副団長が指揮する参列部隊



離任の訓示を述べる仲西前施設団長

### 仲西施設団長離任 防衛監察本部監察官へ

施設団は3月29日、第1施設団長兼ねて古河駐屯地司令仲西陸将補の離任行事を行った。

仲西将補は「すべては実任務のために」を統率方針に掲げ、陸上自衛隊統合防災演習、方面施設科職種合同訓練など方面事業に貢献するとともに、在任間5回にわたる

鳥インフルエンザ災害派遣では部隊を迅速・的確に指揮して民生の安定に寄与した。

仲西将補は約2年3カ月の施設団長としての任務を終了し、隷下部隊及び駐屯地各部隊の隊員に見送られながら、防衛監察本部監察官として市ヶ谷の地へ転出した。



隊員に見送られる仲西前施設団長



演奏する東部方面音楽隊



独唱する阿久津3曹

### 小学校へ巡回演奏会

古河駐屯地は3月15日、東部方面音楽隊の支援を受け茨城県結城市の絹川小学校及び城西小学校への巡回音楽演奏会を実施した。

演奏会は迫力ある「双頭の鷲の旗の下に」から始まり昨年公開された映画の主題歌「新時代」やアンコール曲を含め全7曲が演奏された。

阿久津3曹が独唱した「新時代」の演奏が始まると観客席から歓声上がり、児童達は手拍子で演奏会を盛り上げた。

アンコールでは小学校の校歌が演奏され、児童と教員全員で合唱し会場が一体となった。

これからも自衛隊の理解及び信頼の醸成のため任務にまい進する。

関連16面

### 陸曹候補生課程履修前教育 知識・技能の向上目指して



突撃要領を演練する陸曹候補生

VTCで訓話を受ける陸曹候補生

関東処は2月20日から3月10日までの間、霞ヶ浦駐屯地において第143期及び第103期陸曹候補生課程履修前教育を実施した。

本教育は陸曹候補生課程入校予定者に対し、候補生としての資質と課程履修に必要な共通の知識及び基礎体力を習得させ、入校準備に万全を期することを目的としている。

本処、各支処等から教育に参加した11人の候補生は、座学や戦闘訓練を通して必要な知識・技能の向上を図った。教育の終盤にはテレビ会議（VTC）で第3陸曹教育隊及び女性自衛官教育隊のそれぞれ最上級曹長から訓話を受け、理想の陸曹像確立の一助とした。

候補生たちの今後の活躍を期待する。



訓練状況の報告を受ける駐屯地司令



情報収集や部外調整を実施する関東処隊員



部外の敷地(設想)に着陸したUH-1Jと対応に当たる隊員

### 航空救難態勢の充実図る 駐屯地一体となり訓練実施

霞ヶ浦駐屯地は3月8日、霞ヶ浦駐屯地航空救難訓練を実施した。

本訓練は航空学校霞ヶ浦校から離陸したヘリが部外敷地(学校グラウンド等)へ不時着する事態を想定し、それによって生起する事態に対処するための態勢(現地での救難活動、駐屯地での指揮・幕僚活動等)の確認を図ることを目的に行われた。

主要演習項目としては

- ①駐屯地指揮所における指揮・幕僚活動②救難隊本部の指揮・幕僚活動③現地統制班の早期機能発揮④地上救難隊の航空救難態勢の早期確立⑤4点をあげた上で、訓練当日は駐屯地グラウンドへリ(UH-1J)を着陸させることにより、実践的な状況を作った。

ヘリ不時着の一報を霞ヶ浦校から受けた駐屯地は、訓練「航空救難」を発令して航空救難態勢へ移行した。駐屯地対策本部は霞ヶ浦校救難隊本部と連携を図りつつ、情報収集(テレビニュースやSNS、移動式クロス系クラウドシステムを活用)を行い、近隣の住民や報道関係者に扮した複数の隊員を殺到させるとともに、正門上空付近には警衛所方向を撮影しているような動きをするドローンを実際に飛行させる状況を作った。

現地対応隊員、広報班員及び警衛隊員等の対応要領も併せて演練した。

本訓練により航空救難態勢充実の資を得るとともに、不測事態等発生時における対処能力をさらに向上させた。

関東補給処

### 航空救難態勢の充実図る 駐屯地一体となり訓練実施

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ  
<https://www.mod.go.jp/gsdf/eae/eadep>

Twitter  
 フォロワー募集中!!

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地公式  
 @CampKasumigaura



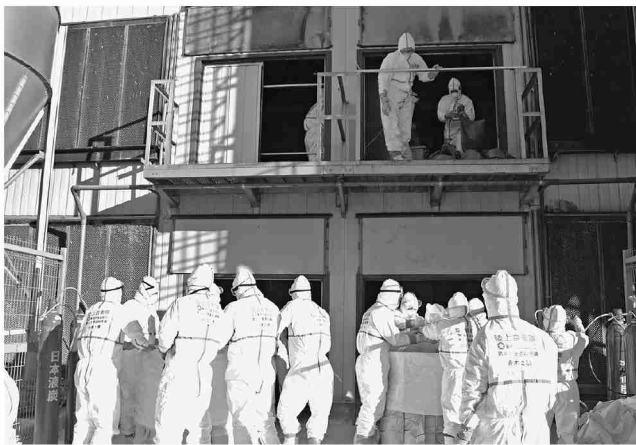
### 混成団

## 4日間で延べ約700名が活動 鳥インフルエンザ災害派遣

第48普通科連隊は1月19日から22日までの間、群馬県前橋市において発生した鳥インフルエンザに係る災害派遣活動を実施した。

18日に相馬原演習場において野外訓練を実施していた連隊は、旅団より派遣部隊として行

鳥インフルエンザ疑いの養鶏発生を受け、訓練を継続しつつも並行して派遣準備を開始し、速やかに態勢を整えた。19日、群馬県知事の災害派遣要請を受けた旅団より派遣命令を受けた連隊は、派遣部隊として行動を開始した。連隊は県が設置した現地事務所内に先遣班を派遣して前方指揮所を開設し、自治体との調整を実施した。また第12偵察隊(当時)、第12高射特科隊、第12通信隊から増援を受け、その基幹部隊となつて複数



2階から鶏を搬出する隊員



鶏を袋に詰める隊員



自治体と調整する隊員

の対処チームを編成し、自治体と連携しながら24時間態勢で殺処分等に係る支援を実施した。4日間にわたり昼夜を問わず延べ676人が活動した派遣部隊は、22日早朝、自衛隊実施分の約

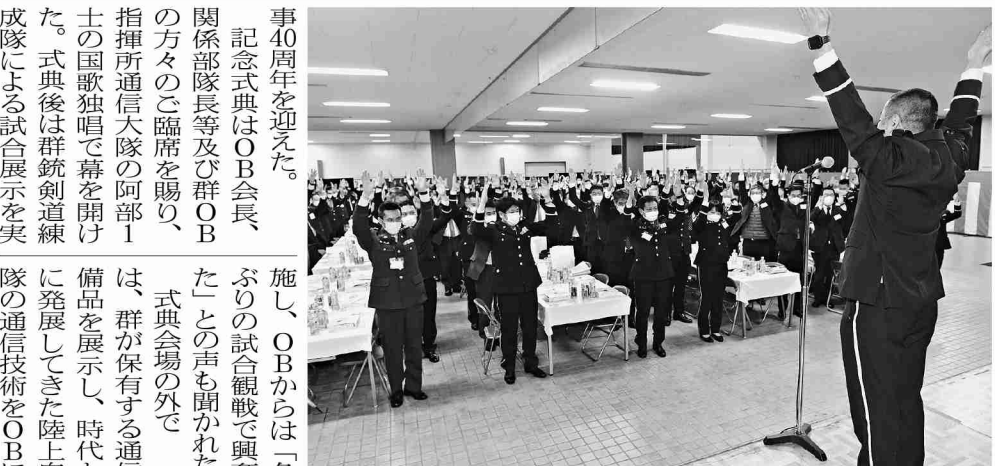
15万羽について殺処分支援を完了し、派遣活動を終了した。

## シ通群 創隊40周年記念行事 歴史と伝統を後世に継承



遠隔地のOB同士の懇談

東部方面システム通信群は3月25日、朝霞駐屯地で群創隊40周年記念行事を実施した。群は昭和58年3月に当時、市ヶ谷駐屯地に所在していた第101基地通信大隊を基幹とした東部方面通信群として発足し、朝霞への移駐、野外通信システム導入、第302システム防護隊新編・編合、東部方面システム通信群への改編等、8度の新・改編を経て無



最先任上級曹長の万歳三唱

露することができた。また記念祝賀会は4年ぶりに関係企業を招待して開催するとともに、駒門・久里浜・相馬原・霞ヶ浦の4会場において遠隔地開催し、近傍にお住いのOBを招待して現役隊員との会食を実施した。行事中は朝霞以外の4会場へ朝霞会場の様子をライブ配信するとともに、朝霞会場との懇談コーナーを設置して、隔離したOB同士が懇談できる環境も提供した。終始盛会の中、最先任上級曹長の万歳三唱で幕を閉じた。群は諸先輩方が40年間築いてこられた伝統を後世に継承し、群の歴史を過去から未来へつないでいけるよう任務にまい進していく。

### 後支隊

## 第306特科直接支援中隊が編成完結 18番目の新編部隊誕生

東部方面後方支援隊は3月16日、朝霞駐屯地において18番目の隷下部隊となる第306特科直接支援中隊の編成完結式及び同関連行事を挙行政した。



後支隊長(左)から隊旗を授与される中隊長(右)

第306特科直接支援中隊は北富士及び宇都宮駐屯地に所在し、東部方面特科連隊に対する火器、車両、施設器材及び通信電子器材の野整備



編成完結報告を行う中隊長

支援を主たる任務とする。編成完結式において後支隊長は、中隊長千野3佐に隊旗を授与するとともに「我が国を取り巻く環境を見れば明日、有事に

なつてもおかしくない状況である。その厳しい環境の中、何時、如何なる状況でも実力が発揮できるように、隊員一人一人が技術を錬磨し、任務を完

遂しつる強靱な部隊を創造して、練度の維持・向上を図りたい」と式辞を述べた。また創隊式において、中隊長は「思考・行動は任務が基準」「相互に会話・議論せよ」「仲間・家族に感謝を」「自分に負けるな」の4点を要望事項として掲げ、各種困難を超越し、戦士として大成するとともに、あらゆる任務にまい進していくことを誓った。

後方支援隊は決意を新たにするとともに、即応態勢を維持し、技術を錬磨して、強靱な野戦兵站部隊を目指す。

### 音楽隊

## 室内楽演奏会、音楽鑑賞会を開催 来場者を笑顔に



6人で演奏した室内楽演奏会



小学校で開催された音楽鑑賞会

東部方面音楽隊は3月6日、川口総合文化センター音楽ホール(埼玉県川口市)において第43回東部方面音楽隊室内楽演奏会を開催した。会場は客席数約600席のコンパクトな規模であったが、平日の夜にもかかわらず多くの来場者が訪れた。本演奏会は2、8人程度の小編成で演奏する形式をとっており、隊内で選出された6人が出演した。そのため演奏者の気合の入り方もまた並ならぬものが感じられる演奏会となった。来場者の多くの方が「楽しかった」と言葉を残しながら笑顔で会場を後にするのを見て、隊員は感謝の思いでいっぱいになった。また音楽隊は3月15日、茨城県結城市の小学校2校で音楽鑑賞会を開催した。いずれの小学校においても子どもたちが楽しそうに聴いている姿を間近に見ることができた。子どもたちは音楽隊の演奏に合わせて大きな声で校歌を歌ってくれ、先生方もうれしそうにその生徒たちを見守っていた。音楽隊は今後も、技術に磨きをかけ、来場者を笑顔にさせていく。



# 新たな戦力が集結

## 東方管内で約1650人が入隊



117教育大隊に着隊した入隊予定者

3月27日から4月1日にかけて満開の桜の下、温かく穏やかな春風とともに方面管内の各駐屯地に一般曹候補生約1000人、自衛官候補生約650人の合計約1650人の入隊予定者が、続々と着隊した。期待を胸に膨らませた入隊予定者は、4月上旬の入隊式に臨み、同期と切磋琢磨しながら各教育隊で行われる教育を経て、一人前の社会人として、また自衛官として成長していく。

### 群馬地本 入隊・入校予定者を激励

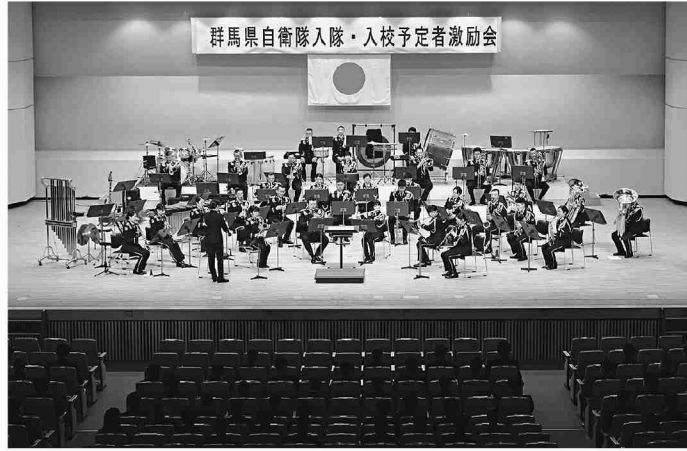
自衛隊群馬地方協力本部は2月26日に前橋市民文化センターにおいて令和4年度群馬県自衛隊入隊・入校予定者激励会を支援した。本激励会は自衛隊協力団体の主催により、山本一太群馬県知事をはじめ多くの来賓の臨席のもと、今年4月に群馬県から自衛隊及び各学校に入隊・入校する予定者を激励するために開催された。会では第一部と第二部で構成され、第一部は入隊・入校予定者の入場の紹介から始まり、主催者紹介及び代表挨拶、防衛大臣からの激励メッセージ、先輩隊員からの激励等が行われ、最後に入隊・入校予定者代表から



女性自衛官教育隊で受付をする入隊予定者

**ある！ある！自衛隊**  
byともえ

「重い荷物を運ぶお仕事、肩幅が...」  
「せめて、スリッパを履いて行ったら、店員さんお言葉、たこ...」  
「聞いて欲しかった...」



音楽演奏で激励する第12音楽隊

### 栃木地本 警察署から表彰状

自衛隊栃木地方協力本部は3月13日、宇都宮中央警察署より交通安全に貢献した功績による表彰状を受贈した。本表彰は宇都宮合同庁舎前の交差点において、栃木地本が数年にわたり交通安全運動に協力したことに対して表彰されたものである。



表彰式後の記念撮影 (左から本部長、中野氏、末吉1曹、廣谷事務官)

昨年9月には秋の全国交通安全運動期間にあわせて、栃木県警及び宇都宮文星女子高等学校(普通科美術デザインコース)及びサッカー部の学生)の協力を得て、交通安全活動を実施した。宇都宮文星女子高校は総務課管理班末吉1曹が広報官として勤務していた際に担当した学校であり、現在でも地域活動等での交流が続いている。期間中



### 訓練所感

第2高射特科群 第334高射中隊 3等陸曹 山本 力樹

### 方面対空情報戦闘訓練に参加して

私は第2高射特科群第334高射中隊指揮班に所属し、射撃隊としての能力向上を胸に日々訓練にまい進しています。

2月25日から3月1日までの間、職種練度向上施策の一環として実施された令和4年度方面対空情報戦闘訓練に参加しました。

本訓練に参加し、初級陸曹特技課程中SAMにおいて学んできた事項について実際に操作することにより、シナリオと実機の違いを認識するとともに、航空自衛隊との協同作戦、師・旅団との連携要領を演練し、自身、首都及び日本の防空への意識を更に高めることができました。また、実際に戦闘機が飛行している中、妨害電波の景況、飛行形態、飛行速度及び高度、民間航空機への応答信号の確認等を行うことができました。その中でも特に戦闘機の飛行形態が印象に残っており、水平蛇行や垂直蛇行して

いる目標、実際に基地に着陸するために緩やかに高度などを落とす実機を初めて確認することが出来ました。今回の令和4年度方面対空情報戦闘訓練を通じて、射撃隊という職務に改めて誇りを持つとともに、第2高射特科群における任務の重要性を再認識することが出来ました。今後はより一層、知識を深めつつ技能を磨き、首都防空を担う一員としての誇りを持ち、日々精進したいと思います。

### 神奈川地本

## 中学生に職業講話 制度説明や体験談語る



生徒たちに講話する所長

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所は3月14日、横浜市立大綱中学校で、生徒たちに講話する所長

「色んな職種があることをはじめて知った」と言った声があった。

は交通安全運動実施中」と書かれたのぼり旗や「譲り合いを大切に」と表示された看板等掲げ、通行車両や歩行者に対する事故防止等の注意喚起を行った。また自転車を通学する高校生が多く見られる場所であるため、自転車運転のマナーの遵守についても呼びかけた。

栃木地本は今後も、地域の活動に積極的に参加し、自衛隊を身近に感じてもらえるよう努めている。

「開かれた『職業講話』において自衛隊の仕事について説明した。コロナの影響により近年実施できていなかったが、当該中学校より生徒の進路指導の一環として自衛隊の仕事を知りたいとの要望を受け、今回3年ぶりの実施に至ったもので、自衛隊の仕事に興味を持つ2年生32人が2グループに分かれて参加した。講話は所長による自衛隊の全般説明に始まり、制度説明や自身の災害派遣の体験などを話し、最後に「日本の平和と安全を守る自衛隊という職業があることを覚えてほしい」と述べた。

参加した生徒たちからは「自衛隊を目指したきっかけは？」や「何が何ですか？」「自衛官になるために必要な資格はありますか？」といった質問があり、積極的にメモを取りながら、一生懸命に聞く姿が見られた。講話終了後は「自衛隊を身近に感じることができた」「色んな職種があることをはじめて知った」と言った声があった。



# 最先任 上級曹長

## 「血と心の通った仕事を」 東部方面システム通信群 秋篠 淳 准陸尉



「あづま」をご覧の皆さま、こんにちは。東部方面システム通信群最先任上級曹長の秋篠准尉です。この職を拝命して早いもので3年目の春を迎えました。この間、東部管内35ヶ所駐屯地に派遣隊等が所在することもあ

り、各駐屯地においてさまざまな方とお会いする機会がありました。その全体的な出会いに感謝するとともに、そのつながりをもっとも心強く感じています。

先月、野球のWBCで侍ジャパンが3大会ぶり

3回目の優勝を飾りました。全勝優勝という素晴らしい形で世界一となりましたが、あの準決勝と決勝は野球素人の私でもとても興奮し、感動しました。約1カ月間の臨時

チーム編成でしたが、その個々の能力の高さはもちろん、チームワーク、団結力、最後まで諦めない気持ち、野球への情熱、そしてチームメイトへの信頼感は、全てにお

いて見習うものがあり、今の仕事に通じるものがあると感じました。帰国後の栗山監督のインタビューで心に残った言葉があります。「個人は大事ですけど、誰かのために

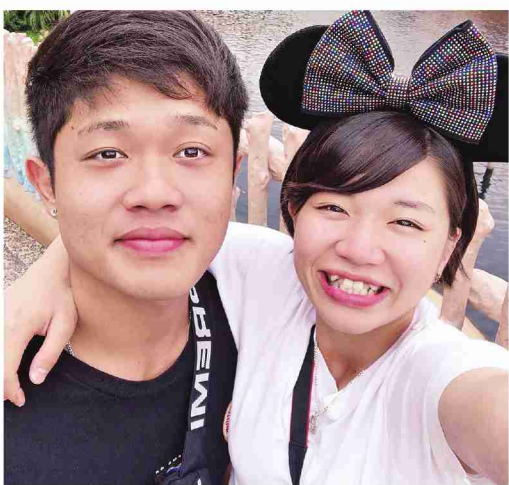
頑張っているという面が野球にはあるので、そういう面も伝わったら嬉しいなと思います。人を助けてあげるといのは、自分が力をつけないと人を助けられない。試合中も人のミスをかばってできないので、そういうのを、何回かミーティングで伝えさせてもらっていました。選手たちの方が持っていましたね。」

まさに自衛隊という組織もそうだなと改めて思いました。

最先任上級曹長に上番する際「血と心の通った仕事を」を上番間の心構えの一つにしました。これは書面や上辺だけでは



## 第32普通科連隊 加藤 三波 3等陸曹



の広さ、夜間の寒さ(8月)を身をもって夫婦とも実感することができました。

北海道訓練の支援が終わり、帰ってきたときにはお互い抜け殻の様な状態でしたが、久しぶりの家の安心感、主人と久しぶりにゆっくりできる時間をとっても感動したのを覚えています。

こんなバタバタな新生活のスタートでしたが、私たちがお互い自衛官で、訓練や勤務等家事を空ける時間が多いですが、思いやる気持ちを忘れない、これからも進んでいきます。

最後に、これから先もよろしくね。

# 「勝つておごらず、負けて腐らず」 第12後方支援隊 本木 楓 陸士長

今月のフェアレディは、第12後方支援隊第1整備中隊 本木士長です。

本木士長は埼玉県本庄市出身の19歳で、趣味は音楽を聴くこと。気に入った音楽がないか、スマホのアプリを使って見つけ楽しんでます。小3から柔道を4年間、中高では剣道を6年間続けてきました。武道家としての礼儀作法はもちろん、物事のメリハリをつけるのが得意です。



Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

「人を助け、人に信頼される」職業に就きたいという夢がありました。小学1年生で東日本大震災を経験し、自衛官の活躍する姿をテレビで見ると、私も自衛官になろうと決心しました。

Q2・現在の職種は？

整備工場です。車両の点検・整備を行っています。特に隊員の命を乗せる車両ですから、整備不良がないようにWチェックを欠かさず実施しています。また先月、初級らっぱ教育を修了し、らっぱ手としてデビューしました。

Q3・休日の過ごし方は？

地元の友人を実家に招いて、食事しながら楽しいおしゃべりや映画を見て盛り上がりつつ、笑い絶えない、大事な友人たちです。

Q4・今後の目標は？

「努力必収」。らっぱ手として細かい時間を活用し、いつ何時でもらっぱ吹奏ができるよう、練度の維持・向上を図りたい、優秀ならっぱ手として、

駐屯地司令褒賞をいただけるように精進していきたいです。

Q7・最後に一言

自衛官として未熟者ですが、人から信頼される隊員になれるよう、任務にまい進していきたいです。

菊池2曹は茨城県常陸太田市出身の35歳、現在は小隊の分隊長として勤務しています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

高校生の頃にイラク人道復興支援の活動を見て、私も人の役に立つ仕事がしたいと志願しました。

Q2・現在の職種を選んだ理由は？

新隊員教育隊の班長から施設科は他職種と協同で訓練する事が多く、多種多様な任務においてさまざまな戦術を学べる事が多いと教わり選びました。

Q3・格闘指導官を目指した理由は？

格闘は令和4年度から新たな基準に変わり、そこから空手道、入隊してから銃剣道と携わった自分のスキルと部隊での必要性が高い格闘指導官としたい、この道を選びました。

Q4・格闘をして苦労したことは？

格闘は令和4年度から新たな基準に変わり、そこから空手道、入隊してから銃剣道と携わった自分のスキルと部隊での必要性が高い格闘指導官としたい、この道を選びました。

Q5・休日の過ごし方は？

家族みんなで公園に出かけ子どもたちと遊んでいます。暖かくなってきたので色々と遊びに出かけようと思います。

Q6・今後の目標は？

これからも自身の格闘技術及び指導能力の向上に日々努めるとともに、部隊の任務に応じた格闘訓練を計画・訓練し、部隊の精強に努める事です。

## 東方男児 「格闘で恩返し」 第307施設隊 菊池 哲平 2等陸曹



今月の東方男児は、第307施設隊に所属する菊池 哲平 2等陸曹です。

私は現在、第32普通科連隊重迫撃砲中隊で勤務しています。主人も同じく、第2中隊で勤務をしています。

そんな私たちの生活を紹介します。結婚生活がスタートして2週間、流行り病を罹ってしまい、主人にはとても迷惑をかけた。主人の看病もありました。

私たちは令和3年に結婚をしました。結婚生活がスタートして2週間、流行り病を罹ってしまい、主人にはとても迷惑をかけた。主人の看病もありました。

後遺症が残る事なく回復することができました。回復した2日後にHTC(北海道訓練センター)訓練の支援があり、主人も私もバタバタと北海道に向かい、2週間ほどでしたが、東富士では感じることができない北海道

### 編集後記

仕事、人間関係、競技など、一生懸命に頑張っているにもかかわらず、なかなか期待していたような成果が出なかったり、恐ろしい程、前に進めなかったりすることがある。どう努力しても上手くいかないときは、何とも言えず報われない気持ちになってしまうことがある。

そんな時、小官なりの解決法がある。いくつか紹介すると「誰かと話をし」「運動する(汗を流す)」「寝る」などだ。その中で一番、効果があると実感するのは、やはり気の置けない人との会話だ。自分ではない誰かに言葉にして悩みを吐き出すことで、自分の胸中に溜(お)りのように溜まっていたものが、何となく薄まり、悩みも整理されていくような気がするのだ。

新年度を迎え、新しい環境の中で悩みながらも、悪戦苦闘している読者も多いはず。自分でベストを尽くすのも当然大事だが、自分だけで解決しようとはせずに勇気をもって周囲の助けを借りてみてはどうだろうか。雑談の中に人生智恵や悩みが薄まるだけでなく、意外な発見も生まれるかもしれない。